公 式 記 録

令和元年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会　　準決勝 【 48 】

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

日 時	2019 年 11 月 4 日（月） 13 ： 05 キックオフ	会 場	アスパ五色 メイングラウンド
天 候	晴れ　風　弱風　ピッチ　天然芝（○）・人工芝・クレー	状 態	良好　試合形式　80 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有
運営責任者	笠原 弘樹	会場主任	田村 孝次
記 録	平野 敦士 ／ 石塚 健二	観 衆	973 人
主 審	足立 正輝	副審１	三村 浩一
副審２	木本 虎太郎	第４の審判員	鵜野 敬二郎

チーム名	得点			得点	チーム名
県立西宮高校 (kick off)	2	2	前半	0	
		0	後半	0	
			延前		
			延後		
			PK戦		
			合計	0	報徳学園高校

PK戦：選手番号 ／ ○× 先 ／ 先 ○×（記入なし）

交代 No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半	選手名	学年	番号	位置	位置	番号	選手名	学年	前半	後半	延前	延後	OUT時間	交代 No.
	分					好井 丈裕	3年	①（1）	GK	GK	1	﨑岡 柊優	3年					分	
	分					清家 太陽	2年	2	DF	DF	5	尾山 雄基	2年		1			分	
	分					牧村 駿佑	3年	3	DF	DF	6	鹿田 哲平	3年					分	
	分					馬殿 浩太	3年	4	DF	DF	19	五島 健汰	2年					分	
	71 分					斎藤 旭	3年	5	DF	DF	20	澄川 竜太郎	2年					分	
	分					梶本 朱生	3年	6	MF	MF	7	浅野 真太郎	3年					HT 分	
	70 分				2	畠山 なる	2年	7	MF	MF	8	中祖 翼	3年	1				71 分	
	80+3 分			1	1*	小林 遼生	2年	9	MF	MF	⑩（10）	堀毛 優	3年	2	1			分	
	77 分				1	松元 太陽	3年	11	MF	MF	11	森 大樹	3年					64 分	
	73 分			1		前川 拓斗	3年	17	MF	MF	14	今西 颯太郎	2年					38 分	
	分				2*	和久 洸成	3年	10	FW	FW	18	船越 大空	1年					分	
	分					西尾 勇真	2年	12	GK	GK	12	岡田 龍馬	3年					分	
17	分					生島 悠斗	3年	13	DF	DF	2	中島 雅規	3年					分	
9	分					玉木 颯	3年	19	DF	DF	3	肝付 勇人	3年					分	
5	分					蔵本 和真	2年	24	DF	DF	13	仲林 哲平	3年					分	
	分					石原 颯太	1年	25	DF	MF	9	船瀬 達也	3年		1			分	14
11	分					土田 真平	3年	14	MF	MF	15	寺西 陽希	3年					分	8
	分					谷口 宗一郎	3年	15	MF	MF	16	村田 智洋	2年					分	7
7	分					山下 将摩	2年	18	FW	FW	24	橋本 凜人	1年					分	
	分					西川 怜雄	2年	27	FW	FW	26	樋口 輝樹	2年					分	11

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
50 分	警	5	斎藤 旭	ラフ	8			2	6	シュート	3	3			6	分				
分					7			4	3	ＧＫ	11	4			15	分				
分					4			4	0	ＣＫ	4	0			4	分				
分					7			5	2	直接ＦＫ	4	6			10	分				
分					0			0	0	間接ＦＫ	0	1			1	分				
分					0			0	0	ＰＫ	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警２

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
13 分	県西宮	10	和久	1 － 0	左 3 ∩ 中央 10 S
33 分	県西宮	9	小林	2 － 0	中央 17 ～ → 9 ～ S
分					
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属【 灘・飾磨 】　氏名【 松崎・松下 】

県西は4-2-3-1、報徳は⑱船越と⑭今西を縦関係にした4-4-2のシステムでゲームを開始した。前半、県西は風上の状況を利用しロングフィードを相手DFラインのウラへ蹴り込み⑩和久のスピードを活かして報徳ゴールへ迫った。報徳は前線からプレスをかけボールを奪い、GKを含めた全選手が良い距離を保ち、⑩堀毛を中心に丁寧にボールを繋いで県西ゴールを目指した。CKやFKでは決定機を作るもゴールを奪うことが出来なかった。それに対し県西は守備時には4-4-2にシステムを変えて対応し、⑰前川を中心に⑨小林⑪松元⑥梶本の活動量を活かしてタテパスを奪い、効果的にカウンターを仕掛け得点を重ねた。後半、風上に立った報徳は前半同様丁寧にボールを繋ぎ、交代枠を使いながら流れを変え、県西ゴールへ迫り多くのチャンスを作った。しかしながら県西はGK好井②清家④馬殿を中心に粘り強く守備を続け、交代枠を有効に使い最後まで豊富な運動量で守り切った。二年連続で決勝に進出した県西には去年の雪辱をめざし奮闘を期待したい。

［備 考］